

FUTURE CATALYSTS 主催 公開型トークイベント 第2回「FC PLATZ」

死を想うテクノロジー ～あなたの描く 20 年後の弔い方～

ゲストスピーカープロフィール（敬称略）

●松本紹圭 （彼岸時住職）

1979 年北海道生まれ。本名、圭介。一般社団法人お寺の未来理事・未来の住職塾塾長。東京神谷町・光明寺僧侶。武蔵野大学客員准教授。東京大学文学部哲学科卒。仏教ウェブマガジン『彼岸寺』(higan.net)や、お寺カフェ『神谷町オープンテラス』を企画。2010 年、ロータリー財団国際親善奨学生としてインド商科大学院（ISB）で MBA 取得。2012 年、住職向けのお寺経営塾「未来の住職塾」を開講、350 名を超える意識の高い若手僧侶が「お寺から日本を元気にする」志のもとに各宗派から集い、学びを深めている。2013 年、世界経済フォーラム（ダボス会議）の Young Global Leader に選出される。著書多数。近著に『お寺の教科書-未来の住職塾が開く、これからのお寺の 100 年-』（徳間書店）。

●市原えつこ （アーティスト/妄想監督）

1988 年生まれ。早稲田大学文化構想学部卒業。日本的な文化・習慣・信仰を独自の観点で読み解き、テクノロジーを用いて新しい切り口を示す作品を制作する。主な作品に、大根が艶かしく喘ぐデバイス《セクハラ・インターフェース》、虚構の美女と触れ合えるシステム《妄想と現実を代替するシステム SRxSI》、家庭用ロボットに死者の痕跡を宿らせ 49 日間共生できる《デジタルシャーマン・プロジェクト》等がある。2014 年文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門審査委員会推薦作品に選出。

●久保明教 （一橋大学大学院社会学研究科・准教授 専門：テクノロジーの人類学）

1978 年生まれ。大阪大学大学院人間科学研究科単位習得退学。博士（人間科学）。科学技術と社会の関係について文化／社会人類学の観点から研究を行う。著書・論文に『ロボットの人類学——20 世紀日本の機械と人間』（世界思想社）、「機械の時間——テクノロジーにおける「新しさ」をめぐって」西井凉子編『時間の人類学——情動・自然・社会空間』収（世界思想社）等がある。

●福原志保 （アーティスト/研究者）

2001 年ロンドンのセントラル・セント・マーチンズ卒業、2003 年ロイヤル・カレッジ・オブ・アート修了。2004 年ゲオアグ・トレメルとアーティストリック・リサーチ・フレームワーク「bc1」を結成。以後、特にバイオテクノロジーの発展が与える社会へのインパクトや、水環境問題について焦点を当てている。また、それらにクリティカルに介し、閉ざされたテクノロジーを人々に開いていくことをミッションとしている。D & AD

Award 2016 クリエイティビティフォーグッド (White Pencil) 部門 審査委員。 Google ATAP Project Jacquard テキスタイル開発兼クリエイティブイノベーションリードとして、カンヌライオンズ 2016 プロダクト・デザイン部門グランプリを受賞。